

(一般屋内用)

階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用型

品番 **FSF21510Z** **FSF21516** (電池内蔵型)
(長時間定格型)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

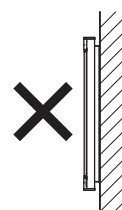
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

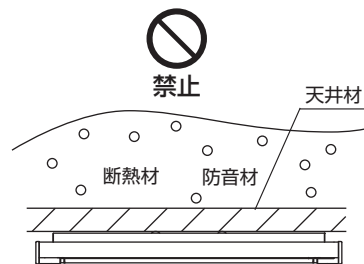
- **施工は、施工説明にしたがい確実に行う。**
施工に不備があると非常点灯せず正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- **器具を改造しない。** 火災・感電・落下の原因となります。
- **表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。**
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- **蓄電池を短絡、分解等しない。** 火災・感電・やけど・破裂の原因となります。
- **天井面・壁面横取付専用ですので、壁面縦取付はしない。**
火災の原因となります。壁面横取付の場合、点検スイッチが下になる方向にお取付ください。



壁面縦取付不可

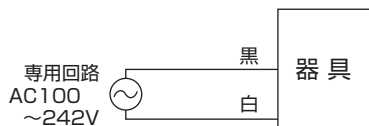
⚠ 注意

- **直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。** 落下・感電・火災の原因となります。
- **周囲温度は、5～35℃で使用してください。**
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- **この器具の電源は専用回路にしてください。**
- **階段通路誘導灯として使用される場合、断熱材・防音材施工の天井には取付けしないでください。**
器具の寿命が短くなる原因となります。
- **階段通路誘導灯として使用される場合、常時、連続点灯してください。**
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- **48時間充電後→非常点灯の確認をしてください。** 充電しないと非常点灯しません。

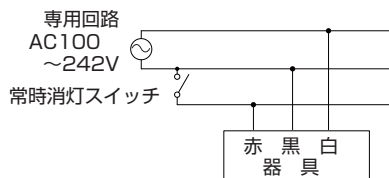


配線種類

A. 消灯なし(2線式配線)の場合



B. 消灯あり(3線式配線)の場合



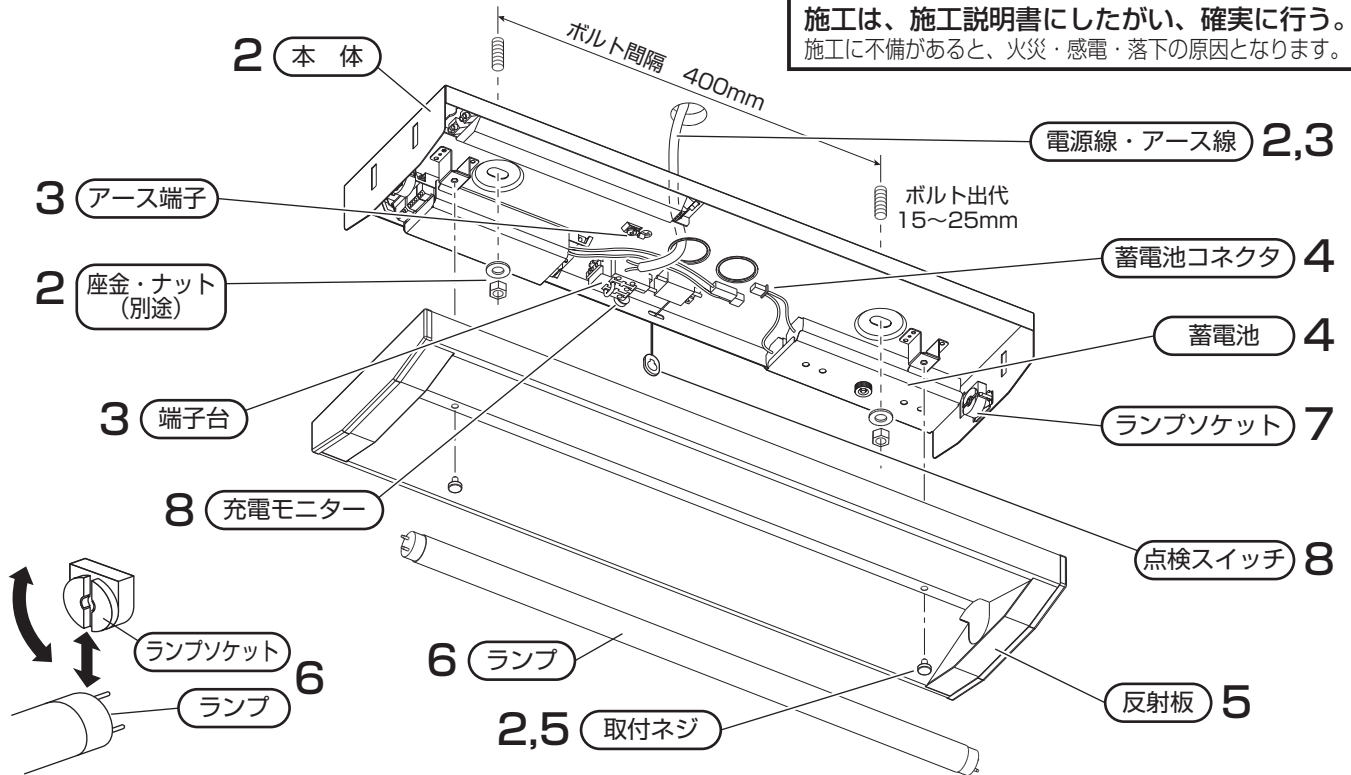
各部のなまえと取付方法

※FSF21516の例で説明しています



警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実にを行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



1 取付前の確認

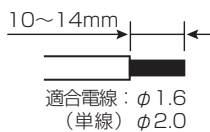
- ・器具質量 (3.0kg : FSF21516の場合) に十分耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2 本体の取付

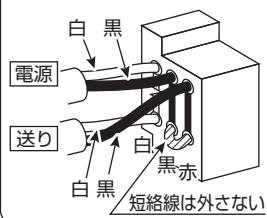
- ・取付ネジ (2個) をはずし、反射板を取りはずす。
- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・本体を取付ボルトに確実に取付ける。(推奨トルク値: 1.5N・m)
取付けに不備があると器具落下の原因となります。

3 電源線・アース線の接続

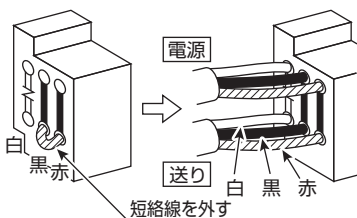
- ・電源線を端子台に確実に接続する。
 - ・アース線を確実に接続する。
 - ・端子台の容量は、20Aです。
 - ・D種 (第3種) 接地工事が必要。
- 接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、
感電・火災の原因となります。



常時消灯しない場合の接続



常時消灯する場合の接続



4 蓄電池コネクタの接続

- ・蓄電池コネクタの方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。

5 反射板の取付

- ・ドライバー等を使用し、取付ネジ (2個) で確実に取付ける。
取付けに不完全な場合、反射板落下の原因となります。

6 ランプの取付

- ・ランプをソケットにセットしてから、90°回転させて確実に取付ける。
取付けに不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

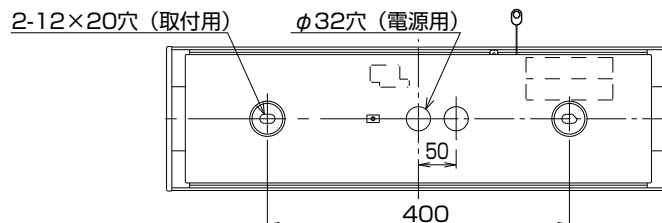
7 電源の通電

- ・反射板、ランプの取付後、すみやかに電源通電してください。蓄電池が放電してしまいます。

8 点灯確認

- ・電源通電状態でランプおよび充電モニターが点灯するか確認する。
 - ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。(充電モニターは消灯します。)
電池は設置後通電し充電しないと非常点灯しません。
- 正常に動作しない場合は **故障かな? と思ったときは**
(4ページ参照) の項をご確認してください。

器具背面図



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・感電・やけど・破裂の原因となります。
- 照明器具には、寿命があります（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。非常用照明器具の場合、使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。ランプ・電池などの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品……弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

- ・器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・部品の交換について……本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。（パナソニック製ランプをご使用ください。）

【交換部品】	品番	Hf 蛍光ランプ	蓄電池
	FSF21510Z	FHF16EX-N-H	FK747 (4.8V 3000mAh)
	FSF21516		FK748 (7.2V 3000mAh)

蓄電池交換方法 蓄電池は、本体の中に入っています。下文の要領で行ってください。

1 ランプを外す

- ・電源を切り、ランプを90°回転させて取り外す。電源を切らない場合、感電の原因となります。

2 反射板を外す

- ・ドライバー等で取付ネジ（2個）を外し、反射板を取り外す。

3 蓄電池を取り外す

- ①蓄電池コネクタを抜く。
- ②ナットと電池ホルダーを外し、蓄電池を取り外す。

4 新しい蓄電池を取付ける

- ・外した手順と逆の手順で確実に取付ける。取付が不完全な場合、落下の原因となります。
- ・蓄電池コネクタは確実に差し込む。接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。

5 反射板、ランプを取付ける

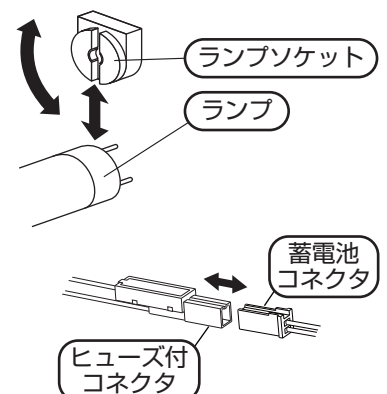
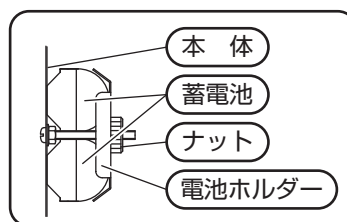
- ・外した手順と逆の手順で確実に取付ける。取付が不完全な場合、落下の原因となります。

6 点灯確認

- ・電源通電状態で、ランプおよび充電モニターが点灯するか確認する。
- ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。

⚠ 注意

- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後は
ランプやその周辺を
さわらないこと



◆定期点検 ・3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお薦めします。
 ・6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
 (点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

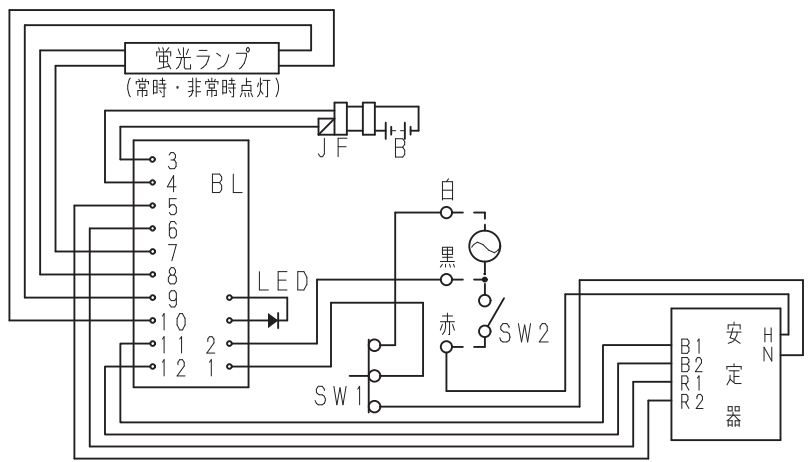
故障かな?と思ったときは

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
常時、蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプの寿命	ランプ交換する
	消灯スイッチOFF	スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	コネクタ接続する
短時間しか点灯しない (30分未満 (長時間定格型は60分未満))	蓄電池の充電不足 (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池交換する
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタはずれ	コネクタ接続する

器具定格・接続図

<FSF21510Z>		<FSF21516>	
定格電圧	AC100~242V	定格電圧	AC100~242V
入力電流	0.21~0.10A	入力電流	0.21~0.11A
入力電力	21.2W	入力電力	21W
非常時光束	735 lm	非常時光束	735 lm



- 記号・名称
- BL：非常灯ブロック
- SW1：点検スイッチ
- SW2：常時消灯スイッチ
- JF：ヒューズ付コネクタ
- B：密閉型Ni-MH蓄電池
- LED：充電モニター (発光ダイオード)

Ni-MH この器具には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。